

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1090300238		
法人名	(株)プライムアシスト		
事業所名	ケアホーム いまじん		
所在地	群馬県桐生市境野町2丁目1459		
自己評価作成日	令和2年2月26日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど		
所在地	群馬県高崎市八千代町三丁目9番8号		
訪問調査日	令和2年3月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自分の家にいるように安心で家庭的な雰囲気を持てるよう、時間に追われることなくゆっくりと過ごせるように心掛けている。利用者・家族共に寄り添うケアを大切にしている為、業務も利用者様の状況に合わせて臨機応変に対応できるようにしており、ゆっくりと一緒にコミュニケーションが図れる時間をとれるよう職員一同日々努めている。特に楽しみ、健康維持の両立が可能な「食べる事」を大切にしており、食材も新鮮なものを使ったりとこだわり、職員間でも調理の仕方や食べ方の工夫等日々意見交換をしながらより良い物が提供できるように、また、その方個々に合った状態で食事を楽しむ事の出来るように努めている。看取りも視野に入れて最後までその方がその方らしく、その方の望む日々が安心して送れるよう日々寄り添う介護をさせて頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

毎年度外部評価を受審しており、お変わりない利用者の生活を拝見している。言動を制止することなく、利用者のペースでゆっくり過ごしてもらうことを職員は心がけており、スタッフの入れ替わりもほとんどなく利用者の生活が支えられている。管理者や職員も現状に満足しておらず、自問自答しながら利用者本位のサービス提供を目指している。入居前の生活を継続するため、本人の希望による活動と食事や入浴の大切さ、日常生活に日課を課さないことを職員が共有している。食事については職員が材料を買いに出かけ手作りをしている。入居前に毎日のようにやっていた家事として揚げ物作り等を手伝ってもらい食べ慣れたものが食卓に並んでいる。入浴に関しても夕方の4時から入り始め、在宅時代の生活様式を提供している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月会議を行う中で運営状況を確認し合い、実施できるように心掛けている。	管理者は利用者に寄り添うことが第一と捉え職員には本人のペースに合わせて動いてほしいと伝えている。それには職員がゆっくり動き、大きな声を出さず、耳元で話しかけることを共有しており、理念が伝わりつつあると感じている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の清掃、夏祭り、子ども食堂などを通じて繋がりを持てるようにしている。	こども食堂を継続し、地域の人にボランティアとして調理補助に来てもらっている。桐生吹奏楽団の訪問もあり、利用者に間近に演奏を見ながら聴いてもらっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々に対して活かせてはいない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回実施しており、運営に関しての助言を頂いたりしている。	定期的に開催され、地域役員・地域住民・家族・行政が出席している。前回の課題であった会議出席の依頼は通知の徹底や議事録の掲示がされており、努力がうかがえた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	何かあった際には連絡を取り、相談等している。	管理者やケアマネージャーが質問等で役所に出向いたり、電話で問い合わせしている。介護保険の更新代行や認定調査の立会いを家族の依頼で行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束や施錠はしないで取り組んでいる。夜間のみ防犯の為玄関の鍵は閉めている。又、2～3か月に1度身体拘束について会議で話し合う機会を設けている。	玄関は開錠され、スピーチロック等に関しては気付きを職員同士で話し合い共有している。他の身体拘束はしていない。身体拘束については定期的に勉強会を行い確認し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の中で話す機会を設けたり、業務の中でも確認し合っ常意識を持って利用者に接するよう心掛けている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会は持っていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	心配事や疑問は確認し、施設の事に関しても十分に説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に家族が来訪する機会を設けたり、何かあった際には連絡を取ったりして、話や意見を聞く機会を設けている。	利用料を持参してもらうため家族等の面会が週に1回から月に1回は来てもらっている。受診等の状況を伝え、利用者も同席しているので、本人の希望が直接家族にも届く。畑仕事・外に出たいという希望を反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議に参加する事により、状況の把握に努め、運営に反映できるようにしている。	月に1度会議が開催され、カンファレンスとは別に職員から意見が出ている。出された意見により出勤時間に変更になった。どの職員でも意見を言いやすい環境を作っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	退職金制度を創設し、将来に安心感を持てるようにし、福利厚生においても入院ケガに対する保険制度の充実を図っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	情報収集に努め、会議等においてプレゼンテーションを行って参加を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加入し、交流する機会を設けたり、近隣施設への交流の呼びかけを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアマネジャーと担当職員によってセンター方式を利用したり、詳しくお話を聞く機会を設け情報を集め安心して生活できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ケアマネジャーと担当職員によってセンター方式を活用する中でしっかり話を聞きながら今後どのように取り組んでいけばいいのかしっかりと話し合うようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の意見を聞きながら提供できるサービスの説明を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や洗濯、調理を一緒に行ったり、一緒にお話をしながら出来ることをしたりと日常生活を送れるように心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	最低でも月に1回利用料の支払いの為に家族に来訪して頂き、利用者様の状況を話したり、今後のケアの方針の相談や少しでも一緒にいる時間を提供できるようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日頃話をしている中で出てきた場所に行ったり、馴染みの方に来て頂けるように家族に話をしたりしている。	家族や兄弟等の入居前にお付き合いのあった人には、いつでも会えるように定期的な訪問を提案している。好きな飲み物を好きな時間に提供することや好きな場所で過ごせるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の状態を見ながらこまめに声掛けをしたり、利用者様同士でもお話しできるように職員が間に入るようにして努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	状況に応じて連絡をとっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望を聞ける方には本人に確認し、困難な方にはセンター方式を活用したり、家族からその都度お話を聞いたりして検討するようにしている。	ケアマネージャーが介護職を兼務しており、利用者との会話や日常の様子から意向等推察している。職員の担当制をとっており、家族の希望等は面会や1回/月の利用料支払い時等に確認して検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用して本人、家族からお話を聞く事で把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の記録やカンファレンスでの話し合い、日頃からの職員間での情報交換により把握するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に1回のカンファレンスや常日頃何かあった際には職員全員で話し合い、プランに反映させている。	担当職員とケアマネージャーで月1回モニタリングを実施している。定期的な介護計画の見直しについては、センター方式を活用してアセスメント及び担当者会議を行い、6カ月毎に行われている。	毎月実施されているモニタリングを基に季節の変わり目や精神面等、些細な変化を考慮して現状に即した介護計画の見直しをお願いしたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の申し送りの中で情報を共有し、プランを記録の中にファイルし常に把握、見直しを出来るようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院介助等必要に応じて行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に地域包括、町会長、市議会議員、市役所職員が参加し、関係を強化している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時にかかりつけ医や緊急時の搬送先の病院を必ず確認しており、適切に受けられるように援助している。又、月に1回かかりつけ医の往診もあり、何かあった際にも対応して頂いている。	契約時に説明し入居前のかかりつけ医か事業所の協力医を選択できる。協力医による月に1度の往診支援を受けている。歯科は隣家の歯科医院に必要時に職員と通院している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1回の訪問看護の利用の際に相談したり、何かあれば24時間体制で対応して頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域連携室や病棟の看護師さんと情報交換をしてその都度の状態の把握に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者様の状態に応じて説明し、医師、訪問看護師との情報を共有しながら話し合い、家族に相談、今後の方針を確認している。	『重度化した場合の対応に係わる指針』があり、本人や家族がターミナルケアを希望された場合は、協力医の指導の下、段階的に家族と話し合いながら、実施することを職員は共有している。実践もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会議の中で統一した行動がとれるように確認、話し合いをしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員だけで行ったり、消防署立ち合いの避難訓練を行っている。	1年6月と11月消防署立ち合い、日中想定で消火・通報・避難訓練を実施し、家族1名が参加した。2か月に1度自主訓練を実施している。水・缶詰・高栄養飲料を備蓄している。地域特有の災害は水害が指定されており、避難場所を確認している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	誇りを損なわないようにプライバシーを尊重し、さりげないケアを心掛け、言葉かけに注意するようにしている。	利用者の動きを止める言葉かけやプライベートなことを他の利用者の前で発言したりという時期もあり、職員は会議で気を付けることを共有し話し合った。異性介助の場合は支援時に同意を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	細かな声掛けにより意思確認をしたり、選択が出来るように提案し、表情を読み取る事で把握している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかな1日の流れは決まっているも、必ず利用者様の意見を聞くようにして希望に添えるように時間を作ったりと職員で話し合って実施している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に理美容を利用したり、服装は一緒に買いに行ったり、家族に本人の好みの物を持ってきて頂けるように話をしたりしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	決まった献立は作らず、調理片付けが出来る方には手伝って頂いたりしている。食事は利用者様と同じものを摂っている。	その日の献立は冷蔵庫の中を見て担当職員がご飯・汁物他3品を手作りし、不足の食材を割り出し、夕食等で修正している。利用者が食材を切ったり揚げたり、手伝っている。飲料は各利用者の好きなものを飲みたい時間に選択できる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人1人に合った食事量やバランスを考慮して提供させて頂いている。水分量も含め、個々に記録をしてどの位摂取出来ているのか毎日把握できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後個々に合った形で口腔ケアを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	1人1人の排泄パターンを絶えず記録しながら状況の変化に合わせてその都度対応している。	トイレでの排泄を支援し、本人自らトイレに行ったのを見逃さず、自己申告や職員が確認し記録している。夜間は誘導や居室でポータブルトイレを使う人もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ食事や運動で改善できるように心掛けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	最低1日おきには入浴できるように援助している。入浴は基本夕方以降に行っており、入る前には必ず声掛けをして医師家訓を行っている。	16時から入浴し始め、夕食を挟んで18時半から再開している。前日に入っていない人を優先に声をかけている。入浴準備をしている人もいる。石鹸等の好みや自分で泡立てて洗っている人等好みの入浴方法を支援している。	入浴時間等への工夫がなされているので、前日に入浴した人にも声をかけて希望が出れば支援してほしい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況に応じて声掛けを行い、本人が希望すればいつでも臥床できるように環境を整えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	出来るだけ本人の状態に合った服薬量なのかを常に考え、カンファレンスでも話し合い、往診や受診の際など日頃の状態を医師に上申し、相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	買い物など一緒に行ったり、暖かい季節には畑を耕したり、作物を育てたりしている。困難な方には散歩をしたり、日光浴をしたりと一緒にいられる時間を作るようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩をしたり、家族と一緒に外出をしたりして頂いている。本人が希望した際には家族と相談ののち、外出できるように支援している。	ふらっと出かける人や畑仕事、玄関や庭を掃くことで外に出る等自由にしてもらい職員が付いている。食材や必要な日用品を買いに出かけ、財布を渡し、払ってもらっている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望がある際には買い物等使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望がある際には行えるように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	その方に合った椅子やリクライニングチェア、クッション等を置いたりしている。また、季節に合わせて飾りを飾ったりと季節感を一緒に感じられるようにしている。	不快な臭いはなく掃除が行き届いている。生活臭には気を付けている。椅子やソファが多方向を向いて置かれ、利用者は好みの場所に座っている。お節句の飾り物やカレンダー、季節の花が飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1人になるのは自室以外難しが、思い思いに落ち着いて過ごせるような空間作りを務めている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族には出来るだけ本人が使っていた馴染みの物を持ってきて頂けるように話をしている。	職員は必ずノックしてから入る。カーペットや畳の部屋があり、テレビや筆筒、日用品が利用者の状況によって使いやすいように置かれている。使い慣れた寝具が自由に持ち込まれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	普通の家で暮らす事で住み慣れた落ち着いた空間を提供できるように努めている。基本的にはバリアフリーにはしていない為、利用者が安全に生活できるように日々十分注意している。		